

くにたちえきひろ大学

第2回ワークショップを実施しました！

くにたち
えきひろ
大学

2024(令和6)年8月10日(土)、くにたちえきひろ大学の第2回ワークショップ「駅前広場の日常をさんぽから考える」を実施しました。前回同様、駅前広場の現地を確認した後、ゲストの三友奈々先生(日本大学理工学部土木工学科助教)、植田瑞昌先生(日本女子大学建築デザイン学部建築デザイン学科助教)より講演いただき、*基本設計事業者チームとのトーク、その後、グループごとに意見交換を行いました。

*基本設計 | 整備の基本的な内容を図面で明らかにすること

開催
実績

〔日時〕 2024(令和6)年8月10日(土)9:00~12:00

〔場所〕 国立駅前くにたちこくぶんじ市民プラザ

〔参加者〕 25名

今回も小学生から高齢者、しょうがいのある方まで多様な方々に参加いただきました！

三友先生・植田先生講演 MEMO

思い思いの居場所をつくる
ープレイスメイキング Placemaking とは

個人の精神的な拠り所となる場を自分の地域でつくりだす、プレイスメイキングの考え方や、場の共有の大切さについて、お話いただきました。



三友先生

駅前広場の日常をさんぽから考える
～さまざまな視点から～

しょうがいは人ではなく環境にあること、お互いの特性を理解し、受け入れながら話し合うことの大切さについてお話いただきました。



植田先生

意見交換「さんぽから、くにたち駅前広場の日常を考えよう！」



▲ グループのワークシート

色々な人の立場から、国立駅前での平日、休日の1日の過ごし方を考え、どんなひろばになってほしいか議論を行いました。また、基本設計などに向けて大切にしたいポイントを確認しました。

いただいたご意見の紹介（一部抜粋）

	平日	休日
早朝 6:00~9:00	・通勤、通学（社会人や学生が多い） ・通勤前の青空朝活 ・ウォーキング	・外で本を読む、トレーニング ・朝市 ・朝の散歩の休み処
日中 10:00~16:00	・会社員、学生が昼食を食べている ・買い物ついでに音楽を楽しむ ・学生が放課後に外で自習	・アーティストが表現でき、皆に見てもらえる ・街角コンサート ・マルシェで買い物
夕方以降 17:00~	・職場からのクールダウン場所 ・塾が終わった後におしゃべりをする ・飲食をテイクアウトして外で過ごす	・買い物帰りに立ち寄れるキッチンカー、夜市 ・夜のイベント ・パブリックビューイング

平日は移動と日常寄りの活動、休日は目的性の高い活動といった意見の傾向がありました。多様な使い方を想定した「可変性」、にぎわい創出の「動」の場に加え、静かに過ごせる「静」の場や、場所ごとの役割分担も大切などの意見がありました。また、早朝、日中、夜間の時間でも異なる表情の国立駅前での過ごし方が描かれました。

意見のまとめの全体は国立市 HP でご覧いただけます。

